



三連休が終わってみると、なんだか急に秋の気配を強く感じるようになりました。今年の夏も暑く『猛暑・酷暑』と言われましたが、この調子だと一気に寒さが訪れる気もします。でも、夏と冬の間にある『秋』、季節の移り変わりを体全体で感じたり、体を動かす心地よさを感じたり、秋の実りを喜んだりできるととても良い季節です。子ども達にとっても充実の秋、いろいろな体験をして、楽しく学び多い時期にしていきたいと思います。

みんなが輝いた「げんき ほんき みんなでがんばるぞ運動会」

7日(土)は天気にも恵まれ、どの子ども楽しみにしていた運動会を行うことができました。運動会に向けて毎日、全園児でオープニングやかっこをしたり、チームで並んで体操や綱引きをしたり、クラスで競技をしたりしていく中で、「運動会でうちのの人に見てもらいたい」「昨日は負けたから今日はもっと頑張りたい」「今日は開会式の言葉をもっと大きな声で言うてみる」など、それぞれの発達に応じた願いをもち、日に日に「ほんき」の気持ちが高まっていきました。年長児は、開会式・閉会式・アナウンスの言葉を覚えて、「園長先生、聞いてください」と意欲的に取り組んできました。ところが、前日はどの学年もこれまでの「よーし!やるぞ」という気持ちを感じられず、走る姿もなんだか気持ちが乗っていないようでした。もしかしたら、繰り返しの途中で慣れてきたこともあったのかもしれませんが。そこで、振り返りで「今日みんなからは、今までで一番本気が感じられなかった。こんな姿をうちのの人に見てもらいたい?」と問いかけました。これまで、ずっと褒めてきた私からこんなことを言われ、特に年中・年長児は神妙な表情で聞いていました。「この子たちなら、絶対に本気で自分の力が出せる」と信じて伝えた言葉でした。

そして当日。意欲満々で登園してきた子ども達は、オープニングから最後の競技まで、開会式や閉会式も、元気いっぱい素晴らしい姿を見せてくれました。学年によって「本気」の姿は異なります。年少児は、友達と一緒に笑顔で走ったり、年長・年中児に手をつないでもらったりして「みんなと一緒に」に運動会を楽しみました。年中児は、クラスの友達と一緒に走る中でも、「もっと高く飛ぼう」「手をひらひらさせてチョウチョみたいに」と、自分なりの表現や力を出したり、綱引きでチームの友達と力を合わせる心地よさを味わいました。年長児は、オープニングの「構え」からもう本気が伝わってきました。どの競技にも力いっぱい取り組み、喜んだり悔しがったり、たくさんある係の仕事も一生懸命できました。8人の年長児ですが、それぞれの場面でリーダーとなり、年中・年少児を優しく並ばせたり、大きな声でチームを応援する姿がとてまかっこよかったです。

全ての競技が終わった閉会式では、楽しく、また力を出し切ったすがすがしい笑顔が印象的でした。年長児を中心に決めた今年の運動会のスローガンである「げんき・ほんき」を合言葉に、一人一人が自分なりの願いに向かったこの運動会、子ども達が一回りも二回りも大きく見えました。この後の子ども達の成長がまた楽しみです。

保護者の皆様には、いろいろな感染症が心配される中、子ども達の健康にご配慮いただいたり、運動会の様々なお願いに対してあたたかいご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

役員・委員の皆様、準備や競技中の手伝いなどをしていただき、ありがとうございました。



「オープニングのバルーン演技(年長児)」



「力を合わせて綱引き!わっしょい(年中・年長児)」



「おうちの人と楽しく親子競技(年少児)」

サツマイモ掘りをしました

連休が明けた11日(水)に、収穫の時期を迎えたサツマイモ掘りをしました。地域の畑の先生の話聞いた後、まずはツルを引っ張りました。一人で引っ張る子、友達と力を合わせる子、力が入りすぎてしりもちをついてしまう子……。いろいろな姿が見られました。ツルと綱引きを楽しんだ後は、手で土に隠れているサツマイモを掘りました。ちょっとだけ顔をのぞかせているサツマイモを見つけては、手で土を一生懸命かき分けるようにして掘り、取れた時は大喜び!「見て!大きいのが取れたよ」「この形、おもしろいな」と、自分の取ったお芋を大事そうに抱えていました。みんなで掘った後は、年長児が収穫したサツマイモの数を数えました。これまで玉ねぎ・ジャガイモの収穫での数を数えた経験から、「5個ずつ集めたらいい」「うん、それで5個と5個で10個にしたらいいね」ということを子ども達が決めました。夏の暑さのせいなのか、例年より数が少なく、大きさも不ぞろいでしたが、年長児が一生懸命数えて247個ありました。おみやげに大1個小1個ずつ持ち帰り、後のサツマイモは収穫祭や誕生会で料理し、美味しくいただきたいと思います。



「お芋のツルと綱引きだ!」



「なかなか出てこないね。もっと掘ろう」



「5個ずつ集めて数えよう」

土手すべり、おもしろかったよ!!

13日(金)は天気も良く、全園児でバスに乗って土手へ行き、草すべりをしました。「すべる人とぶつからないように決まったところを登る・勝手に遠くへは行かない」等の約束をした後、みんな家庭で作ってもらった色とりどりの段ボールに乗り滑り出しました。最初は、草が倒れていないので、スピードは出ませんが、何度もみんながすべっているうちに、草の滑りもよくなり、勢いがついてきました。初めてなので恐る恐る段ボールに乗る年少児、年長児の乗り方を真似ながら繰り返し楽しむ年中児、これまでの経験から体重を後ろにかけてスピードが出るようにすべる年長児。自分なりのすべり方を試したり、友達と競い合ったり、いろいろな楽しみ方が見られました。また、今回は大きな段ボールも持っていき、後半は何人もの友達と一緒に乗ってすべり、さながらジェットコースターのようなスリル感でした。滑り降りるとまた段ボールをもって斜面を登らなくてはなりませんが、楽しく滑るために約束を守りながら一生懸命斜面を登ってはすべり登ってはすべり、どの子も笑顔いっぱいでした。



自分のことが自分でできる喜び

ある月曜日の朝、いつものように玄関で子ども達の登園を迎えていると、一人の年中児がニコニコしながら私に近づいてきました。保護者の方は「園長先生に話があるようなので聞いてやってください」と後ろから見守っておられます。するとその子は「このソウリ、ほくが洗ったんだよ!」と教えてくれました。ソウリは金曜日に持ち帰り、洗って月曜日に持ってきます。これまではきつとおうちの人に洗ってもらっていたでしょうが、この日は自分で洗ったソウリをととても嬉しそうに袋から出して履き、意気揚々と保育室へ向かっていきました。この姿から、自分のことがきちんと自分でできると、大きな自信につながることを改めて感じました。もうすでに実践していっしょにご家庭もあることと思います。子どもがするより大人がしたほうが、早くてきれいで失敗もないのかもしれませんが。ハラハラしながら見守ることは、大きな忍耐が必要かもしれません。でも、自分のことが自分でできるという自信と喜びは、これから先、生きていくうえで大きな学びと意欲へとつながっていきます。年齢やその子に応じた「自分にできること」を増やしていってみませんか。